

補助事業成果報告書

法人番号	041005	法人名	朴沢学園	学校名	仙台大学
内定番号	18K0001	補助項目	教養教育改革推進		
教育研究課題名	学生の進路意識（就職マインド）醸成を目的としたキャリア教育				
1. 補助事業の取組状況（500字以内）					
<p>平成17年度より変更、実施されている全学カリキュラムにおいて、目的意識の明確化による大学生活の充実ならびに人生設計の意識化による人間教育の展開をめざし、全学生必修の「キャリアプランニングⅠ」（1年次後期）「同Ⅱ」（2年次）「同Ⅲ」（3年次前期）の3科目を立てた。平成18年度は、カリキュラムの学年進行に伴い「キャリアプランニングⅠ」ならびに「同Ⅱ」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアプランニングⅠ 1年次後期（9月～1月）実施。クラス担任による少人数クラス（19名～27名）で心理アセスメント、共通教材集を用いた将来展望、自己分析を実施した。日程調整や進行状況把握は本学創職小委員の教員が中心となった。 ●キャリアプランニングⅡ 2年次実施。4月、7月にオリエンテーション、9月からクラス毎に3日程度の就業体験的インターンシップを行った。派遣先は接客業務を中心に、担当者が各学生の居住地、交通手段の有無等を勘察して決定した。派遣日の前後週には事前指導、事後指導を行った。 ●教養演習Ⅱ 3年次前期実施。外部講師による全体講義と少人数によるゼミ形式の組み合わせで実施。全体講義では就職活動に必要な具体的な取り組み、また各ゼミでは自己分析・理解を中心に学習した。 					
2. 補助事業の成果（500字以内）					
<p>上記科目別に成果をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアプランニングⅠ 授業評価では、殆どの実施内容について「そこそこ興味深かった」と答えている。内容が面白いと判断されるためには今後の工夫が必要である。また、科目履修計画など近々に迫った事柄や、検査、ディベートなど、授業方法が珍しいものの評価が高かった。これらのことがらを参考に今後内容の充実、取捨選択が課題となる。 ●キャリアプランニングⅡ 学籍異動、病気、怠学などによる数名を除き、95%以上にあたる462名がインターンシップを行った。以下にアンケート調査で目立った変化を挙げる。1) 選択肢の一つとして民間企業を考慮に入れるようになった学生は1～3割増加した。2) 志望職種以外について、単純な好奇心や教条的と思われる態度が減少した。3) 「定職につかないと視野が狭くなる」という考えを持つ学生が増加した。4) 職業選択の際「お金が儲かるかどうか」という実利的要因がより重視されるようになった。これらの変化は、インターンシップを経験したことにより、現実的に職業選択を捉えはじめた結果であると考えられる。 ●教養演習Ⅱ 自己分析・理解では自分を考える良い機会になり、また全体ゼミでは最近の就活状況、エントリーシート・履歴書の書き方、面接時の留意点など具体的な講義内容で有意義な結果であった。 					